

「今後の水道料金の改定について」討議結果

料金表（案）

【事務局案】

資料3-1 水道料金表（案）の確認

【委員意見】

料金表案1

- ・人口減少、水需要の減少が続く中で、水道事業を継続していくためには、基本料金で収入を安定した方がよい。
但し、水道事業を継続していくために必要であることを、広報して理解していただく事が大切だと思う。
- ・固定費はなるべく基本料金でまかなうほうがよい。
基本料金は高くなるが、その分、φ13mm φ16mmメーターは従量料金で家庭用配慮がなされているので良いと思う。
- ・従量料金に頼ると、今後、人口減少などで水の使用量が減った時、またすぐに料金改定になる恐れがある。

料金表案2-1、2-2

- ・基本料金が高くなると、少量使用者への負担が大きくなる。
水道使用者の多くを占めるφ13mmメーターは少量使用者が多いので、お客さまの負担を考えると、基本料金は少しでも安い方が良い。

その他

- ・φ16mmメーターの基本料金激変緩和措置がなくなると、改定率が非常に大きくなるので、きちんと説明して理解していただく事が大切である。

【討議結果】

- ・基本の料金表は案1を採用する。
但し、φ20mmメーターについては、φ13mm φ16mmメーター同様～10m³までの従量料金を家庭用として配慮した料金表に変更した後、再度確認し、意見等があれば会長と相談のうえで、答申書（案）に盛り込む。